

平成 24 年 8 月 22 日

電通ギャルラボは NHK Eテレ（教育テレビ）と連携し  
「15～20 歳就職前の“プレオトナ”」の実態と大人に対する意識を調査  
— 現代のプレオトナは“ソーシャルセンシティブ” —

ギャルを中心に若い世代のインサイトを研究するプランニングチーム「電通ギャルラボ」は、NHK Eテレ（教育テレビ）「オトナへのトビラTV」と連携し、15～20 歳の就職前の男女を“プレオトナ”と命名し、その実態と彼らの大人に対する意識について調査しました。

その調査からプレオトナの特性として、他者への気遣いや、人間関係、コミュニケーションを重要視しているものの、実態としてはコミュニケーション能力に不安を持っていることが明らかになりました。この傾向を“ソーシャルセンシティブ”と定義し、そのトピックスを取り上げるとともに、プレオトナの「大人」に対する意識について、その特徴的なポイントをご紹介します。

調査結果の詳細は P3～P10[資料編]をご覧ください。

【調査結果トピックス】

**1. プレオトナの実態は“ソーシャルセンシティブ”**

- ① 「人間関係」を重視するあまり、「コミュニケーションの場で相当の気遣い」をする傾向。  
「人間関係は私の人生において重要だ」82.4%。  
「コミュニケーションの場では相当気を遣っている」72.0%。
- ② 人間関係では「苦手な人がいること」に悩み、「気心の知れた友人のみと付き合う」傾向。  
人間関係での悩みの1位「苦手な人がいること」44.3%、2位「会話に入っていけない」31.7%。
- ③ 「お金」「就職」「受験」「コミュニケーション」に現在不安を持っている。  
現在の不安は1位「お金」60.7%、2位「就職」58.3%、3位「受験」46.1%、4位「コミュニケーション能力」44.3%。  
「恋愛」は6位で37.0%と、「お金」の60.7%より23ポイントも下回る。
- ④ プレオトナの交友関係は、ネットとリアルでは別物。  
携帯電話のアドレス帳登録人数が平均93.7人である一方、友だちの数は平均46.6人。
- ⑤ 自己実現に積極的に取り組み、周囲の人と幸せな関係を築くことを意識。  
身につけたいことの1位は「積極的に取り組む」38.0%、2位は「相手に伝わる言い方」35.4%。  
また、理想の環境の1位は「自分だけではなく、周囲の人も幸せな関係」35.9%。

**2. プレオトナの「大人」に対する意識**

- ① 大人へのステップは「社会人になったら」と、社会との関連性を重視。  
大人だと思う年齢の平均は「22.8歳」。大人だと思うステップは「社会人」39.1%。
- ② 6割以上のプレオトナが「大人になりたい」一方で、大人は「辛い」イメージ。  
「大人になりたい」64.1%、「大人になるのは辛いことの方が多い」84.8%。

③ 理想の大人は、社会への感度が高い。「自分の行動に責任が持てる」「自分の意見を持っている」「周囲に気を遣える」「人間関係をうまくこなしている」。

理想の大人だと思う項目は、「自分の言動に責任が持てる」54.1%、「自分の意見を持っている」49.1%、「周囲に気を遣える」48.3%、「人間関係をうまくこなしている」46.1%、「相手の立場になれる」43.9%と、人間関係にまつわる項目が高い割合となった。

**【調査概要】**

調査手法：インターネット調査

調査地域：全国 47 都道府県

調査対象：15～20 歳の就職前の男女 540 名※

実施日程：2012 年 7 月 13 日（金）～7 月 16 日（月）

※本調査は、15～29 歳一般男女 1000 名を対象に行った「大人に対する意識実態調査」から、15～20 歳の就職前の男女を抽出し、レポートとしてまとめました。

■電通ギャルラボ（DENTSU GAL LABO）の概要



DENTSU GAL LABO（代表：並河 進）は、ギャルのマインドとパワフルな生き方を活かし、企業だけでなく日本社会の活性化までを目指す、社内横断プランニングチームとして、2010 年 3 月に発足。ギャルに対する深い知見を元に、事業・商品開発、マーケティング、広告コミュニケーション、プロモーション、テレビ番組や雑誌企画等のプランニングを手掛けています。

<http://www.dentsu.co.jp/marketing/gallabo/>

■NHK Eテレ（教育テレビ）「オトナへのトビラTV」の概要

社会に出る前のプレオトナたちに向け、近い未来に直面するさまざまな問題や、それに立ち向かうチカラとライフスキルを伝授する番組が、「オトナへのトビラTV」。8月23日（木）18：55～19：55に放送予定の特番「オトナへのトビラTV 夏スペシャル！」では、「孤独」「モテ」「ネット炎上」など、コミュニケーション上の悩みを中心としたさまざまな問題を乗り越えて活躍している芸能人の先輩たちをゲストに、そのトラウマ克服法などを徹底解剖。“ソーシャルセンシティブ”なプレオトナたちに向け、厳しい現代の世の中を生き抜くべく、エールを送ります。また、本調査・分析結果を、夏の特番「オトナへのトビラTV 夏スペシャル！」をはじめとする番組づくりに活用し、番組を通してプレオトナを応援していく予定です。

<取材に関する問い合わせ先>

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報1部・2部 小林・林田

TEL：03-6216-8041

<内容に関する問い合わせ先>

株式会社電通 電通ギャルラボ 外崎

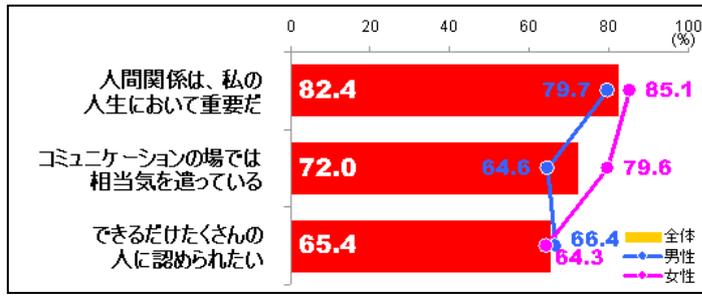
TEL：03-6216-8232

(1) プレオトナの実態は“ソーシャルセンシティブ”

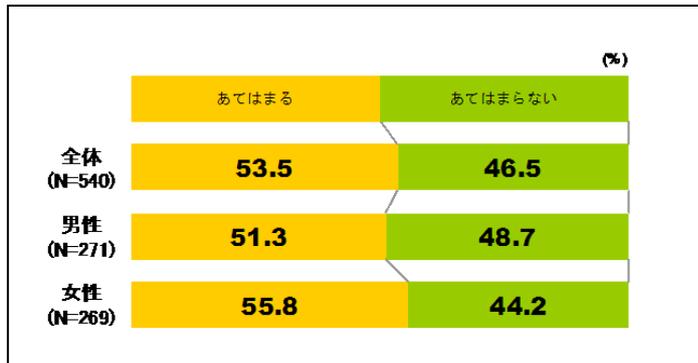
① 「人間関係」を重視するあまり、コミュニケーションの場で相当の気遣いをする傾向。

「人間関係」について、プレオトナの8割以上が重要だと回答。また53.5%の人が「孤独」な人は生きるのが辛いと感じており、友だちの数も多くを求め、多人数からの承認欲求も強い。このような、プレオトナたちのコミュニケーションする人数の広がり、逆にコミュニケーション上での制約＝“気遣い”につながっていると読み取れる。

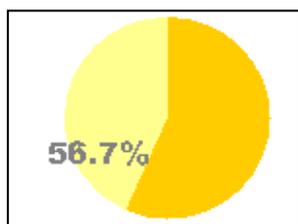
Q 人間関係について



Q 「孤独」な人は生きるのが辛いと思う



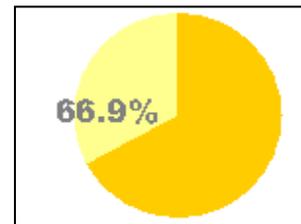
Q 友達・知り合いの数は多い方がよいと思う



(「とてもそう思う」+「そう思う」計)

Q 自分とは考えが違ってても、

多くの人に愛されている人とは仲良くなって損はない

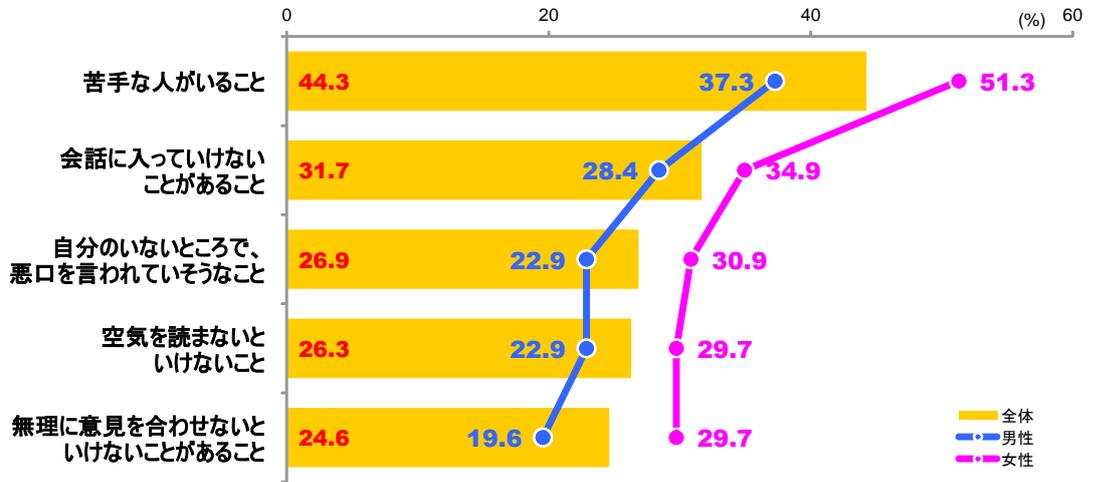


(「とてもそう思う」+「そう思う」計)

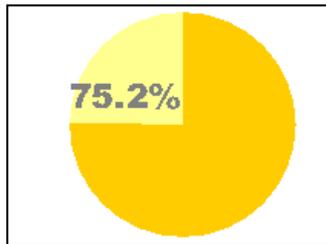
② 人間関係では「苦手な人がいること」に悩み、「気心の知れた友人のみと付き合う」傾向。

多くの友だちを求める一方で、プレオトナの人間関係の悩みは、1位「苦手な人がいること(44.3%)」。携帯電話でのメールやSNSの利用が増加している中で、「会話への参加(31.7%)」や「自分がいないところでの悪口(26.9%)」に悩みを抱えており、結果的に「気心の知れた友人とのみ付き合う」人が多数(75.2%)。ネット環境の進化で不特定多数とつながりやすい環境に相反する本音が浮き彫りになった。

Q 人間関係での悩み



Q 気心の知れた友人のみと付き合うことが多い



(「とてもそう思う」+「そう思う」計)

### ③ 「お金」「就職」「受験」「コミュニケーション」に現在不安を持っている。

プレオトナの現在の不安は、1位「お金（60.7%）」で、2位「就職・仕事（58.3%）」。3位は「受験・学歴（46.1%）」だが、ほぼ同ポイントの4位に「コミュニケーション能力（44.3%）」が挙がった。年代に特有の「恋愛」は6位という結果に。女性は「受験・学歴」よりも「コミュニケーション能力」を不安に感じると回答。

#### Q 現在不安なこと

全体		男性		女性	
① お金	60.7	① 就職・仕事	55.7	① お金	66.5
② 就職・仕事	58.3	② お金	55.0	② 就職・仕事	61.0
③ 受験・学歴	46.1	③ 受験・学歴	46.5	③ 自分のコミュニケーション能力	52.0
④ 自分のコミュニケーション能力	44.3	④ 日本の未来・景気	38.7	④ 受験・学歴	45.7
⑤ 日本の未来・景気	40.4	⑤ 自分のコミュニケーション能力	36.5	⑤ 恋愛	42.0
⑥ 恋愛	37.0	⑥ 恋愛	32.1	⑥ 日本の未来・景気	
⑦ 外見・スタイル	34.3	⑦ 外見・スタイル	27.3	⑦ 外見・スタイル	41.3
⑧ 自分の精神・健康状態	29.6	⑧ 自分の精神・健康状態	25.8	⑧ 友人関係	33.8
⑨ 友人関係	28.3	⑨ 友人関係	22.9	⑨ 自分の精神・健康状態	33.5
⑩ 結婚	19.3	⑩ 年金	17.3	⑩ 結婚	21.9

(%)

#### Q 将来不安なこと

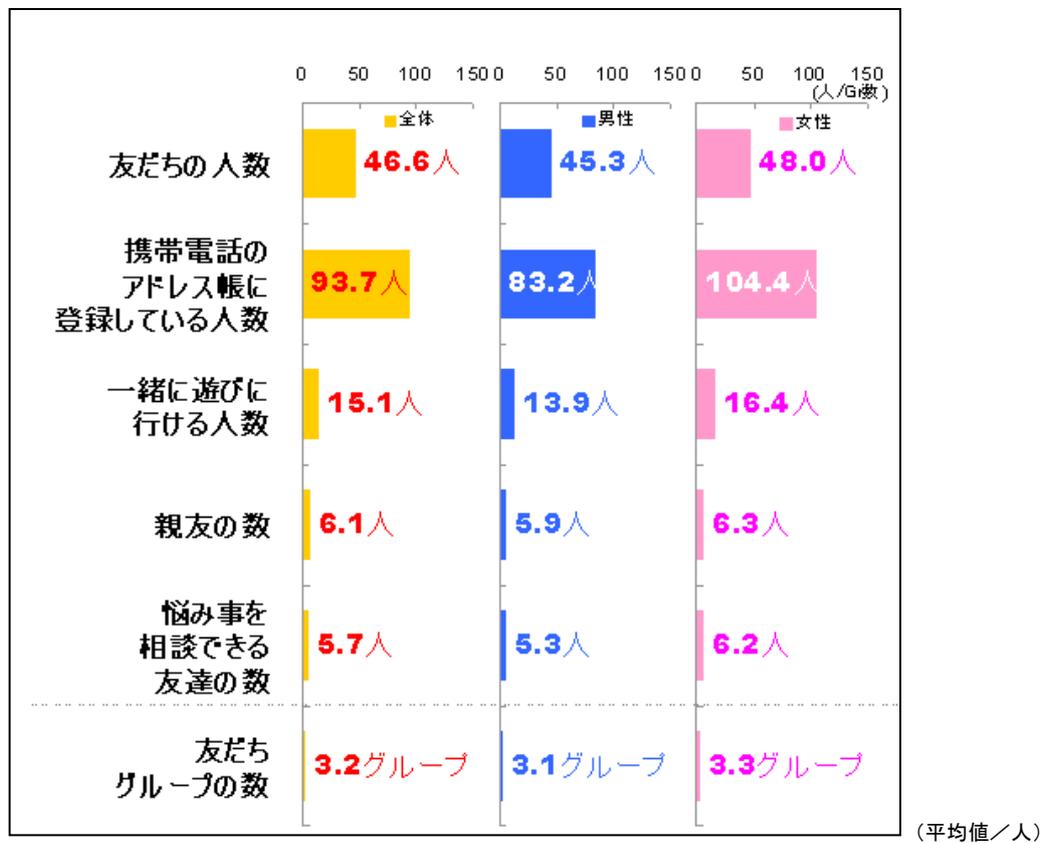
全体		男性		女性	
① 就職・仕事	59.1	① 就職・仕事	56.1	① 就職・仕事	62.1
② お金	49.3	② お金	42.8	② お金	55.8
③ 日本の未来・景気	39.8	③ 日本の未来・景気	37.6	③ 結婚	44.6
④ 結婚	38.0	④ 年金	31.7	④ 日本の未来・景気	42.0
⑤ 年金	35.0	⑤ 結婚	31.4	⑤ 年金	38.3
⑥ 恋愛	28.1	⑥ 恋愛	26.2	⑥ 自分のコミュニケーション能力	31.2
⑦ 自分のコミュニケーション能力	28.0	⑦ 自分のコミュニケーション能力	24.7	⑦ 恋愛	30.1
⑧ 自分の精神・健康状態	23.1	⑧ 自分の精神・健康状態	21.8	⑧ 育児	26.0
⑨ 育児	21.3	⑨ 受験・学歴	20.3	⑨ 自分の精神・健康状態	24.5
⑩ 友人関係	20.2	⑩ 友人関係	18.8	⑩ 友人関係	21.6

(%)

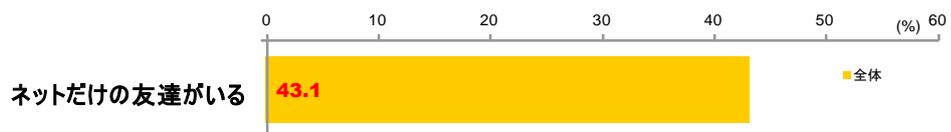
④ プレオトナの交友関係は、ネットとリアルで別物。

携帯電話帳に登録している友だちについて、“知り合い”“友だち”“親友”といった人間関係の格付けを行っていることが分かる。携帯電話のアドレス帳登録人数が平均 93.7 人と約 100 人にのぼる一方で、友人の数は平均 46.6 人、一緒に遊びに行ける人数は平均 15.1 人、親友は平均 6.1 人。さらに、ネットだけの友だちがいる人は 4 割以上。携帯電話やネットは単なるツールにすぎず、リアルでの交友関係と切り分けられていることが読み取れる。

Q 友人やグループの数



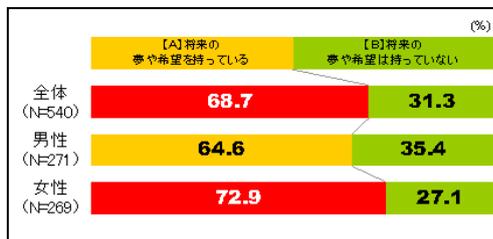
Q インターネットでの友達の有無



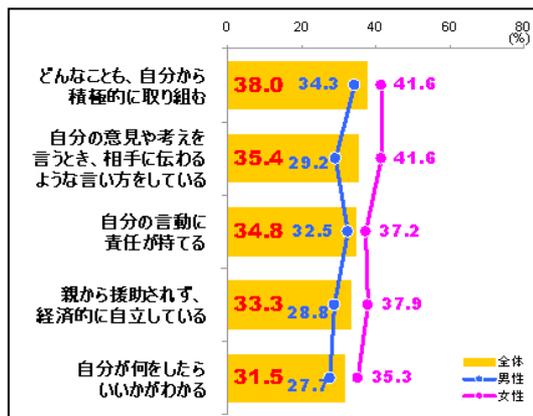
### ⑤ 自己実現に積極的に取り組み、周囲の人と幸せな関係を築くことを意識。

プレオトナの約 68.7%が「将来の夢や希望を持っている」と回答。さらに、“これから身につけたいこと”の1位は「どんなことにも、自分から積極的に取り組む(38.0%)」。一方、2位には「自分の意見や考えを言うとき、相手に伝わるような言い方をしている(35.4%)」が入るなど、他者への配慮が伺え、自己実現においても、他者との関係性を強く意識していることが分かった。また、“周りになってほしい理想の環境”の1位は「自分だけではなく周囲の人も幸せ(35.9%)」となった。

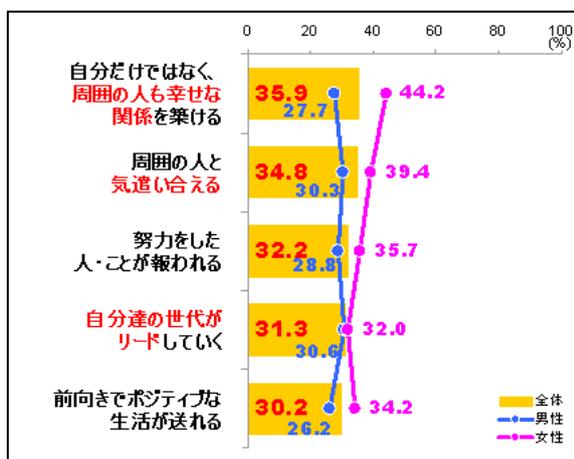
#### Q 将来への希望・夢の有無



#### Q これから身につけたいこと



#### Q 周りになってほしい理想の環境

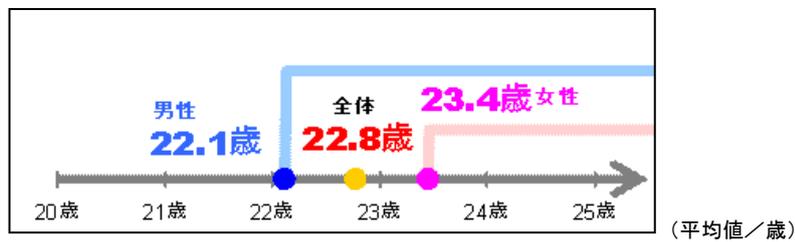


## (2) プレオトナの「大人」に対する意識

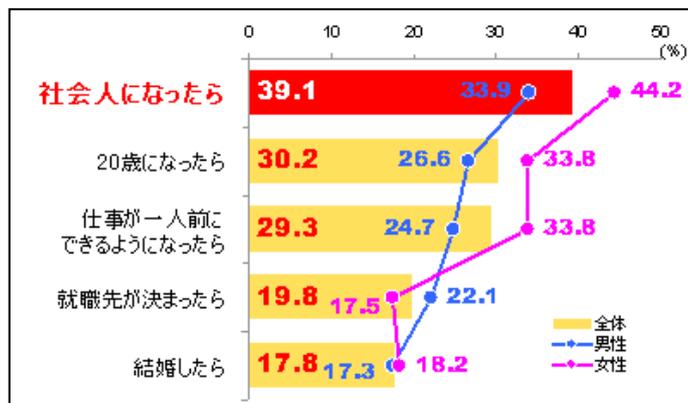
### ① 大人へのステップは「社会人になったら」。

「大人」だと思える年齢の平均値が「22.8歳」という結果に。大人だと思えるステップの1位が「社会人」で、約4割に上ることから、社会へ出ることが大人への入口だという認識が強いことが分かる。また、大人になることを頂上の10合目とした時に、プレオトナの大半が「4.4合目」にしていると感じている。

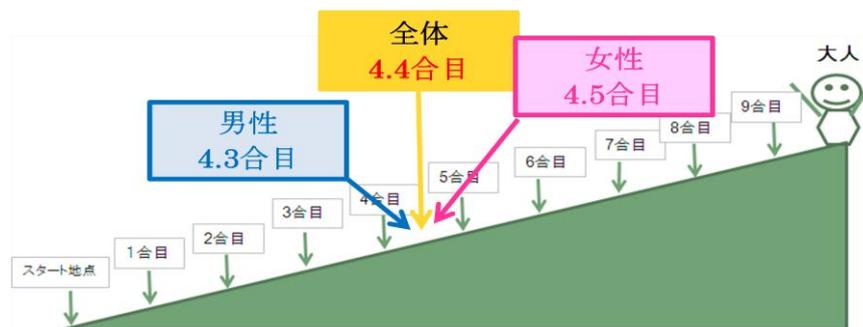
#### Q「大人」だと思える年齢の平均値



#### Q「大人」だと思えるステップ



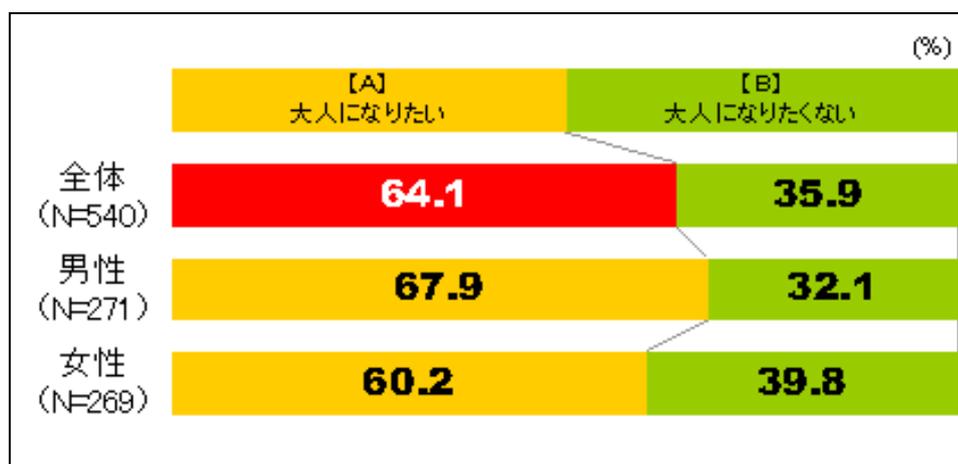
#### Q「大人」だと思えるステップ



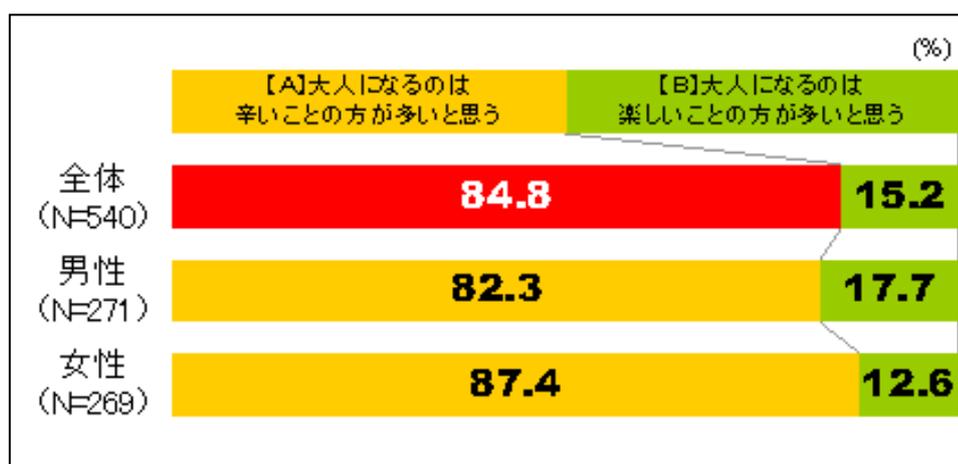
② 6割以上のプレオトナが「大人になりたい」一方で、大人は「辛い」イメージ。

6割以上のプレオトナが「大人になりたい」と思う一方で、8割以上が「大人になるのは辛いことの方が多」と回答。女性の方が「大人になりたくない（39.8%）」「大人になるのは辛いことの方が多（84.8%）」とネガティブな回答が多い。

Q「大人」になりたいか



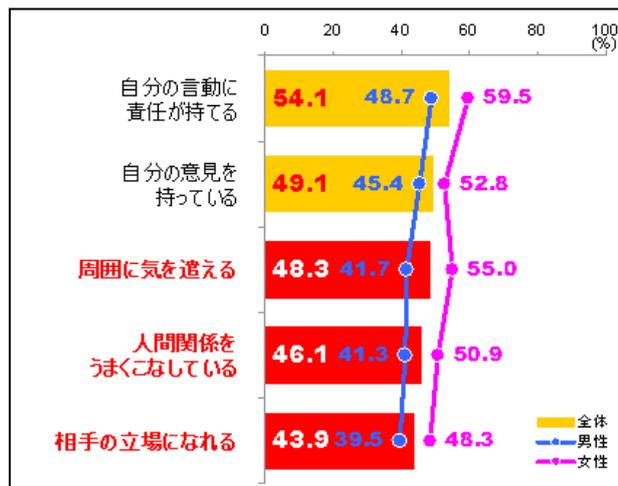
Q「大人」になることへのイメージ



③ 理想の大人は「自分の行動に責任が持てる」「自分の意見を持っている」「周囲に気を遣える」「人間関係をうまくこなしている」。

“理想の大人像”としては、「自分の言動に責任が持てる(54.1%)」「自分の意見を持っている(49.1%)」「周囲に気を遣える(48.3%)」「人間関係をうまくこなしている(46.1%)」「相手の立場になれる(43.9%)」となった。“ソーシャルセンシティブ”なプレオトナにとって、社会への感度が高く、コミュニケーションが上手にとれることが大人の前提条件になっている。一方、“「大人だ」と思うこと”を質問したところ、「自分の言動に責任が持てる」ことが1位に挙がっており、「自分への責任」が「他者への配慮」の上に成り立っているということが伺える。また、「辛いこと、悲しいことを乗り越えている(53.7%)」という、逆境からの克服に関して“大人とを感じる”という回答が半数を占めた。また、他者への共感性も高いことが分かる。

Q「理想の大人だ」と思うこと



Q「大人だ」と思うこと

